

令和3年度

数理・データサイエンス・AI教育プログラム

自己点検・評価報告書

令和4年4月



構成

1. はじめに	2
2. 点検・評価	4
2-1. 学生の関心を高め、かつ、必要な知識及び技術の体系的な修得.....	4
2-2. 教育プログラム計画の公表.....	5
2-3. 学生に対し履修を促す取組の実施.....	5
2-4. 自己点検・評価の実施、公表.....	6
2-5. 実績期間.....	6
2-6. 履修・修得状況・学修成果.....	7
2-7. 学生の理解・推奨度.....	8
2-8. 履修者数・履修率向上の計画・進捗状況.....	8
2-9. 教育プログラム修了者の進路・活躍状況・企業等の評価.....	8
2-10. 学外からの視点を含めたプログラムの内容・手法.....	9
3. 授業改善アンケート結果.....	10
3-1. 経営学科（Aクラス）.....	10
3-2. 経営学科（Bクラス）.....	11
3-3. 経営学科（Cクラス）.....	12
3-4. 社会福祉学科.....	13
3-5. デザイン学科.....	14
3-6. 建築学科.....	15
4. 科目独自の授業アンケート結果.....	16

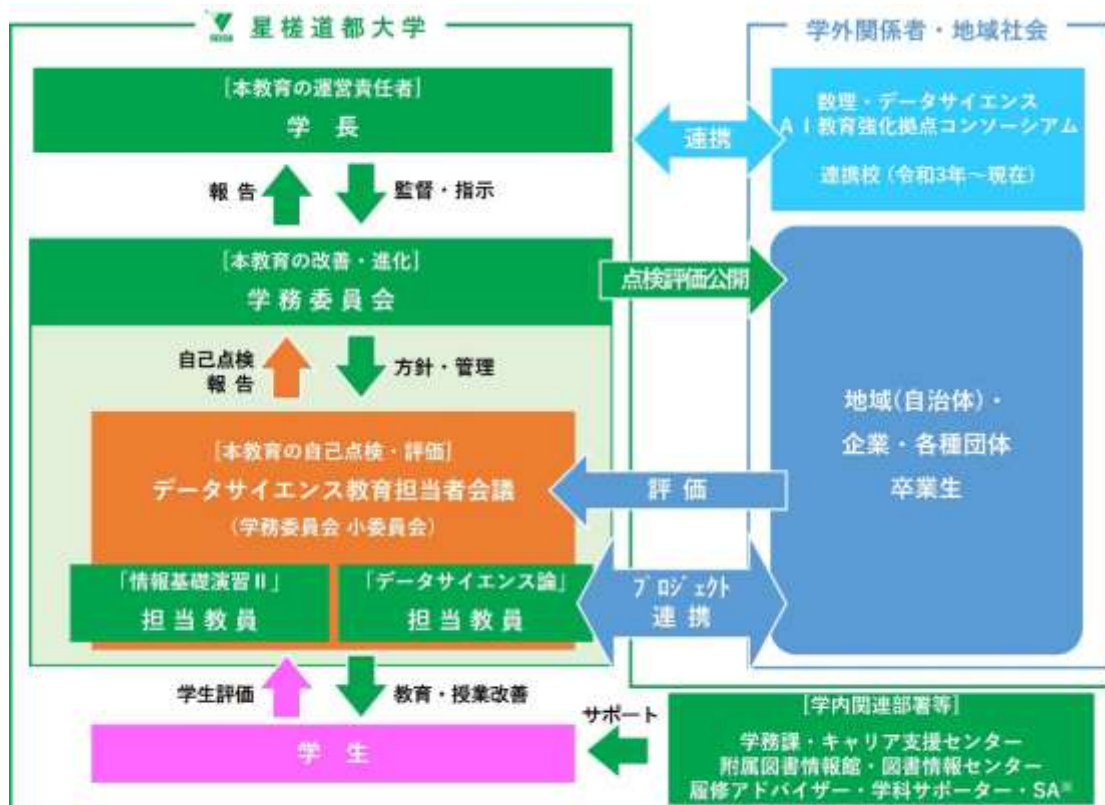
1. はじめに

令和3年度 星槎道都大学にて実施した「数理・データサイエンス・AIリテラシー教育プログラム」(以下、本プログラム)の自己点検・評価を行った。

【自己点検・評価の体制】

本学では、本プログラムの実施にあたり、本プログラムの改善・進化を担う「学務委員会」において内容・指針を決定し、その学務委員会下部組織(小委員会)として新たに「データサイエンス教育担当者会議」を設置し、学内の視点における自己点検・評価を行い、次年度の本プログラム・授業改善の指標とした。

組織名称	組織概要
学務委員会	学務委員長 伊藤 裕康(建築学科長) 構成員数: 15名
データサイエンス教育担当者会議 (学務委員会 小委員会)	議長 由水 伸(図書情報館長・学長補佐) 構成員数: 4名



※該当科目のSAは、令和5年度より配置予定

【自己点検・評価の項目】

本プログラムにおける点検・評価項目は、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度実施要綱」第二条、及び「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）実施要綱細目」の3（6）の内容に準じて設定した。

【自己点検・評価の結果判定】

各点検・評価項目においては、次のとおり基準を設け、判定を行った。

判定結果	判定基準
良	当該項目を十分に達成した。
可	当該項目を達成したが、改善の必要性が認められる。
要改善	当該項目を達成できず、早急に改善の検討が必要。

【自己点検・評価の対象科目】

本プログラムの修了条件は、数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム（以下、コンソーシアム）が提示する「モデルカリキュラム（リテラシーレベル）」に準拠した授業を展開した「情報基礎演習Ⅱ」（全学必修科目・1単位）の単位修得であるため、本科目において自己点検・評価を実施した。

なお、自己点検・評価項目によっては数理・データサイエンス・AI関連科目を含めて総合的に実施する。

2. 点検・評価

2-1. 学生の関心を高め、かつ、必要な知識及び技術の体系的な修得

<p><点検・評価項目1：要綱第二条の一（イ）> 学生の数理・データサイエンス・A Iへの関心を高め、かつ、数理・データサイエンス・A Iを適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成するために必要な知識及び技術を体系的に修得させる教育プログラムであるか。</p>	
点 検	<ul style="list-style-type: none"> ● Society5.0 やデータ駆動型社会等により情報技術が急速に発展し、文理問わず様々な分野において、データを職務に活用して課題解決ができる人材の育成が急務であることから、本学においても令和3年度より、コンソーシアムが提示する「モデルカリキュラム（リテラシーレベル）」に基づき、数理・データサイエンス・A I教育を実施した。 ● 社会的ニーズ及び学生の関心を高めるため、全学必修科目である「情報基礎演習Ⅱ」（必修1単位）にて実施した（モデルカリキュラム（リテラシーレベルに準拠））。 ● 「情報基礎演習Ⅱ」の他に、「情報基礎演習Ⅰ」（必修1単位）、「数学入門」（選択2単位）、「統計学入門」（選択2単位）、「基礎統計演習」（選択2単位）、「データサイエンス論」（選択2単位）を展開し、数理基礎・情報リテラシー・データリテラシーについて複合的かつ体系的に修得できるよう図っている。 ● 「データサイエンス論」では、「情報基礎演習Ⅱ」で習得したデータサイエンス・A I基礎知識を応用に、地域課題解決型学習（PBL）を行い、より総合・実践的な学修を展開する（令和4年度後期開講）。
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ● 数理・データサイエンス・A Iを全学必修科目として展開することで、全学生に対してデータサイエンスの意義を周知し、関心を高める機会を設けている。 ● 「情報基礎演習Ⅱ」を中心に、関連科目を広く展開することで、学生自身の興味・関心に応じて体系的に知識・技能を修得することが可能である。 ● 本学の数理・データサイエンス・A Iは「データサイエンス論」が未開講であるため、本プログラムの全体的な評価・見直し・改善は今後の課題である。
判 定	可

2-2. 教育プログラム計画の公表

<p><点検・評価項目2：要綱第二条の二> 当該教育プログラムの名称、当該教育プログラムにおいて身に付けることのできる能力、修了要件、開設される授業科目、授業の方法及び内容並びに実施体制を記載した当該教育プログラムを実施するための計画を定め、公表しているか。</p>	
点 検	<ul style="list-style-type: none"> ● 本プログラムの概要、及びコンソーシアムが提示する「モデルカリキュラム（リテラシーレベル）」に準拠した「情報基礎演習Ⅱ」をはじめ、数理・データサイエンス・AⅠに関連する科目のシラバスは、本学 Web サイト等を通じて学外に公表している。 ● 「情報基礎演習Ⅱ」の第1回授業において、学生に対しシラバス等を用いて説明を行った。
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ● 本プログラムの概要及び「情報基礎演習Ⅱ」・関連科目のシラバスは本学 Web サイト等を通じて学外に公表している。 ● 「情報基礎演習Ⅱ」を履修する学生に対して、数理・データサイエンス・AⅠを学ぶ意義や履修目標、関連科目の展開状況等を、十分説明している。
判 定	良

2-3. 学生に対し履修を促す取組の実施

<p><点検・評価項目3：要綱第二条の三> 学生に対し当該教育プログラムの履修を促す取組が行われているか。</p>	
点 検	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会的背景や産業界からの要請に伴い、数理・データサイエンス・AⅠの教育は必要不可欠と判断し、全学必修科目である「情報基礎演習Ⅱ」において、コンソーシアムが提示する「モデルカリキュラム（リテラシーレベル）」の内容を展開した。
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ● 「情報基礎演習Ⅱ」は全学必修科目である。 ● 令和3年度入学生より本プログラムを展開しているため、令和6年度末には在学する全学生が本プログラムを修了することとなる。
判 定	良

2-4. 自己点検・評価の実施、公表

<p><点検・評価項目4：要綱第二条の四> 当該教育プログラムについて自ら点検及び評価を行い、その結果を公表しているか。</p>	
点 検	<ul style="list-style-type: none"> ● データサイエンス教育担当者会議において自己点検・評価を行い、結果を学務委員会に報告し、次年度の方針・改善指示を行っている。 ● 自己点検・評価の結果は本学 Web サイト等を通じて学外に公表している。 ● 全学的に授業改善を推進するFD推進委員会において実施する授業改善アンケートの結果を踏まえ、授業改善を行っている。 ● 授業改善アンケートの他に、「情報基礎演習Ⅱ」独自に学習前（第1回授業）・中間（第8回授業）・学習後（第15回授業）の3度にわたって授業アンケートを実施した。
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業改善アンケート等により学生の意見・学習ニーズを把握し、本プログラムの不断の改善を図っている。 ● 「情報基礎演習Ⅱ」においては、同科目独自の授業アンケートを授業期間中に3度実施しており、より細やかに学生の学習ニーズに対応し、習熟度や学習意欲の向上に努めている。
判 定	良

2-5. 実績期間

<p><点検・評価項目5：要綱第二条の五> 当該教育プログラムを一年以上実施した実績があるか。</p>	
点 検	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和3年度より本プログラムを展開している。
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ● 1年以上の実績を有する。 ● 今後も継続して実施し、本学に在籍する全学生に対して修得をさせる。
判 定	良

2-6. 履修・修得状況・学修成果

＜点検・評価項目6＞						
教育プログラムの履修・修得状況・学修成果に関する事項						
点 検	「情報基礎演習Ⅱ」の履修者数・修了者数					
	科目名	履修者数	修得者数	修得率		
	情報基礎演習Ⅱ	270	256	94.8%		
	「情報基礎演習Ⅱ」の学修成績分布					
	学修成績	S(秀)	A(優)	B(良)	C(可)	F(不可)
	人数(人)	47	63	89	57	14
構成比	17.4%	23.3%	33.0%	21.1%	5.2%	
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ● コンソーシアムが提示する「モデルカリキュラム（リテラシーレベル）」に準拠した授業を展開した「情報基礎演習Ⅱ」における履修者数・修了者数及び学修成績分布は上表の通りとなり、学務委員会へ報告している。 ● 本科目は全学必修科目である。 					
	<ul style="list-style-type: none"> ● 修得状況（単位取得状況）については学務委員会にて状況を報告し、学生の履修指導につなげている。 ● ポータルサイトにおいて、各授業科目の出欠情報、成績等の履修状況は、学生がオンラインで確認することが可能となっている。 					
判 定	良					

2-7. 学生の理解・推奨度

<p><点検・評価項目7> 学生アンケート等を通じた、学生の内容の理解度・他の学生への推奨度に関する事項</p>	
点 検	<ul style="list-style-type: none"> ● 「情報基礎演習Ⅱ」の授業最終回には、FD推進委員会による授業改善アンケートが行われ、次年度に向けた授業計画の見直し・改善を全学的に実施している。 ● 「情報基礎演習Ⅱ」の担当教員により、独自の授業アンケートを学習前(第1回授業)、中間(第8回授業)、学習後(第15回授業)に実施し、授業期間中の学生のニーズに細やかに対応し、即時見直し・改善を図っている。
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ● 全学レベルと担当教員レベルの2段階にて学生の習熟度や学習ニーズに適応し、授業内容の評価・改善を実施している。 ● 独自の授業アンケートについては測定項目の見直しを図り、更に学生の学習ニーズ・習熟度の把握を図る必要がある。
判 定	可

2-8. 履修者数・履修率向上の計画・進捗状況

<p><点検・評価項目8> 全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況</p>	
点 検	<ul style="list-style-type: none"> ● 本プログラムは、履修者数の向上を図るため、全学必修科目にて実施している。
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ● 全学必修科目として開講し、履修率100%となっている。
判 定	良

2-9. 教育プログラム修了者の進路・活躍状況・企業等の評価

<p><点検・評価項目9> 教育プログラム修了者の進路・活躍状況、企業等の評価に関する事項</p>	
点 検	<ul style="list-style-type: none"> ● 本プログラム修了者は、令和4年4月現在卒業していない。 ● 卒業後、キャリア支援センターと協力しながら、卒業後の追跡調査を実施する等、修了者のキャリアステップや活躍状況の把握に努めたい。
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象者がいないため、未評価とする。
判 定	—

2-10. 学外からの視点を含めたプログラムの内容・手法

<点検・評価項目 10> 産業界等社会からの視点を含めた、教育プログラム内容・手法に関する事項	
点 検	<ul style="list-style-type: none"> ● 本プログラムの企画・運営は、学長の責任において実施され、全学的組織である学務委員会において指針・内容決定を行っている。 ● 本プログラムの評価・改善は、新たに設置したデータサイエンス教育担当者会議（学務委員会 小委員会）にて実施し、学務委員会に報告を行っている。なお、内容については学外の視点を有する理事会等の機関においても報告している。 ● 授業では、グループディスカッション・グループワークを複数回行い、学生間の学び合いを創出し、知識の共有の促進を図った。 ● グループウェア（Microsoft Teams）を活用して、授業時間外の質問を受け付け、対応した。 ● Teams を活用して、課題の提示・回収・採点・個別フィードバックを行った。 ● 学生の習熟度に応じて、補講・個別指導・特別講義を実施した。 ● 「情報基礎演習Ⅱ」のステップアップ科目である「データサイエンス論」では、地域の課題解決に向け、地域の方と協働する PBL を通して、基礎知識の利活用を実際に行うことで、実践力・データサイエンス的思考力の向上を図る計画である（「データサイエンス論」は、令和4年度後期開講）。
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和4年4月現在、関連科目である「データサイエンス論」が開講されていないため、全体的な評価には至っていない。 ● 「情報基礎演習Ⅱ」における学習支援については、さらにより個別に対応できるようリソースを整備する必要がある。 ● PBL では、学習法の利点を十分に活かせるよう、学生の姿勢や状況に注意して最適な指導を行うことが重要である。
判 定	可

3. 授業改善アンケート結果

3-1. 経営学科（Aクラス）

◎ 説明	2021年度 月1回開講(2021.月1開講)4回
◎ 実施期間	2022/07/25(水)10:00～2022/08/09(火)20:00
◎ 実施者	宇野 謙
◎ 実施回数	アンケート回数: 4回 / 1回1人
◎ 全体回答率	回答率: 75.0%

◎ 設問1	シラバスは授業中の説明や記録が適切でしたか。	<table border="1"> <tr><td>とても適切だった</td><td>20%</td></tr> <tr><td>充分適切だった</td><td>25%</td></tr> <tr><td>適切だった</td><td>35%</td></tr> <tr><td>シラバスも受ていない</td><td>20%</td></tr> </table>	とても適切だった	20%	充分適切だった	25%	適切だった	35%	シラバスも受ていない	20%
とても適切だった	20%									
充分適切だった	25%									
適切だった	35%									
シラバスも受ていない	20%									
◎ 設問2	先生の話し方(言葉)声の調子等)は適切でしたか。	<table border="1"> <tr><td>とても適切だった</td><td>30%</td></tr> <tr><td>充分適切だった</td><td>25%</td></tr> <tr><td>適切だった</td><td>35%</td></tr> </table>	とても適切だった	30%	充分適切だった	25%	適切だった	35%		
とても適切だった	30%									
充分適切だった	25%									
適切だった	35%									
◎ 設問3	先生は時間配分など、授業の進め方は適切でしたか。	<table border="1"> <tr><td>とても適切だった</td><td>30%</td></tr> <tr><td>充分適切だった</td><td>25%</td></tr> <tr><td>適切だった</td><td>35%</td></tr> </table>	とても適切だった	30%	充分適切だった	25%	適切だった	35%		
とても適切だった	30%									
充分適切だった	25%									
適切だった	35%									
◎ 設問4	授業やパワーポイントの字が読み取れませんでしたか。(講師-演習のみ回答)	<table border="1"> <tr><td>とても適切だった</td><td>30%</td></tr> <tr><td>充分適切だった</td><td>25%</td></tr> <tr><td>適切だった</td><td>35%</td></tr> </table>	とても適切だった	30%	充分適切だった	25%	適切だった	35%		
とても適切だった	30%									
充分適切だった	25%									
適切だった	35%									
◎ 設問5	配布資料、資料集などの教材は適切でしたか。(講師-演習のみ回答)	<table border="1"> <tr><td>とても適切だった</td><td>30%</td></tr> <tr><td>充分適切だった</td><td>25%</td></tr> <tr><td>適切だった</td><td>35%</td></tr> </table>	とても適切だった	30%	充分適切だった	25%	適切だった	35%		
とても適切だった	30%									
充分適切だった	25%									
適切だった	35%									

◎ 設問6	先生は学問の理解度を高めながら授業を進めたか。	<table border="1"> <tr><td>とてもそう思う</td><td>50%</td></tr> <tr><td>充分そう思う</td><td>20%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>15%</td></tr> <tr><td>あまりそう思わない</td><td>15%</td></tr> </table>	とてもそう思う	50%	充分そう思う	20%	そう思う	15%	あまりそう思わない	15%
とてもそう思う	50%									
充分そう思う	20%									
そう思う	15%									
あまりそう思わない	15%									
◎ 設問7	授業中の質問は講師が解ってくれるか。	<table border="1"> <tr><td>とてもそう思う</td><td>40%</td></tr> <tr><td>充分そう思う</td><td>20%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>25%</td></tr> <tr><td>あまりそう思わない</td><td>15%</td></tr> </table>	とてもそう思う	40%	充分そう思う	20%	そう思う	25%	あまりそう思わない	15%
とてもそう思う	40%									
充分そう思う	20%									
そう思う	25%									
あまりそう思わない	15%									
◎ 設問8	この授業の内容は理解できましたか。	<table border="1"> <tr><td>とても理解できた</td><td>30%</td></tr> <tr><td>充分理解できた</td><td>25%</td></tr> <tr><td>理解できた</td><td>25%</td></tr> <tr><td>あまり理解できなかった</td><td>20%</td></tr> </table>	とても理解できた	30%	充分理解できた	25%	理解できた	25%	あまり理解できなかった	20%
とても理解できた	30%									
充分理解できた	25%									
理解できた	25%									
あまり理解できなかった	20%									
◎ 設問9	先生は授業を通して授業に臨んでいましたか。	<table border="1"> <tr><td>とてもそう思う</td><td>30%</td></tr> <tr><td>充分そう思う</td><td>25%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>25%</td></tr> <tr><td>そう思わない</td><td>20%</td></tr> </table>	とてもそう思う	30%	充分そう思う	25%	そう思う	25%	そう思わない	20%
とてもそう思う	30%									
充分そう思う	25%									
そう思う	25%									
そう思わない	20%									
◎ 設問10	この授業は全体的にどの程度満足していますか。	<table border="1"> <tr><td>とても満足できた</td><td>30%</td></tr> <tr><td>充分満足できた</td><td>25%</td></tr> <tr><td>満足できた</td><td>25%</td></tr> </table>	とても満足できた	30%	充分満足できた	25%	満足できた	25%		
とても満足できた	30%									
充分満足できた	25%									
満足できた	25%									
◎ 設問11	この授業の良かった点、課題等の改善意見、その他、意見・要望等が採れは採れていますか。 無。 月給が1万円だったので大変だった。 授業がわかりやすかったです。 PPTについてわかりました。 授業中の疑問や課題はほとんど解決できました。エッセイのテーマや課題にも授業に付随しての個人学習で解決しました。 もっと学びたいと思った。 特になし。 特になしです。									

3-2. 経営学科 (Bクラス)

◎ 学年	2021年度 中1課程363 中2課程443
◎ 実施時期	2022/01/25(水)19:00 - 2022/02/09(水)20:00
◎ 科目名	学芸課
◎ 全学年出席	アンケート回答者数 46人 / 46人計 出席率 93.2%

◎ 質問1	シラバスは授業時の説明が役に立っていましたか。
	<ul style="list-style-type: none"> とても役に立っていました 40% 役に立っていました 25% 役に立っていません 25% やり過ぎ 25% あまり役に立ちません 10%
◎ 質問2	先生の話、資料や動画、先生の手帳は役に立ちましたか。
	<ul style="list-style-type: none"> とても役に立ちました 40% 役に立っていました 25% 役に立っていません 25% あまり役に立ちませんでした 10% 役に立ちません 0%
◎ 質問3	先生は時間配分など、授業の進め方は適切でしたか。
	<ul style="list-style-type: none"> とても適切でした 25% 適切でした 25% 適切ではなかった 25% あまり適切ではなかった 25%
◎ 質問4	授業のワークシートや資料の取り扱いは適切でしたか。(授業・演習の両方)
	<ul style="list-style-type: none"> とても適切でした 25% 適切でした 25% 適切ではなかった 25% あまり適切ではなかった 25%
◎ 質問5	配布資料、資料集などの資料は適切でしたか。(講義・演習の両方)
	<ul style="list-style-type: none"> とても適切でした 25% 適切でした 25% 適切ではなかった 25% あまり適切ではなかった 25%

◎ 質問6	先生は授業の理解度を確認しながら授業を進めましたか。
	<ul style="list-style-type: none"> とてもよく確認 25% よく確認 25% やり過ぎ 25% あまりよく確認しない 25%
◎ 質問7	授業の内容は興味を持って学べましたか。
	<ul style="list-style-type: none"> とても興味を持って 25% 興味を持って 25% やり過ぎ 25% あまり興味を持っていません 25%
◎ 質問8	この授業の内容は理解できましたか。
	<ul style="list-style-type: none"> とても理解できた 15% 理解できた 25% 理解が深かった 25% あまり理解できなかった 25% 理解できなかった 10%
◎ 質問9	先生は授業を持って授業に臨んでいましたか。
	<ul style="list-style-type: none"> とてもよく臨んで 25% よく臨んで 25% やり過ぎ 25% あまりよく臨んでいません 25%
◎ 質問10	この授業は全体的にどの程度満足していますか。
	<ul style="list-style-type: none"> とても満足でした 25% 満足でした 25% 満足ではなかった 25% 満足できなかった 25%
◎ 質問11	この授業の良かった点、建設的な改善意見、その他、意見、要望等があればお書きください。 Zoomのアンケート機能について理解できた。 対顔授業は、1対1のものが良かった。これからの授業でほしい。 改善してほしい点 ① 授業の進め方が遅い ② 授業内容が濃く、もっと早く進んで欲しい Zoomは自由に出て参加したいので、先生の出席を強制してほしい。 資料のみに頼んでいないこと、先生が質問の場で発言できたのは素晴らしいコミュニケーション。 なし。 なし。 逐一生徒の理解を確認しているのが良かった。 オンラインの授業に対していい姿勢が伝わって良かったです。 なし。 丁寧な解説のおかげで良かったです。 アンケートにもよく答えてました。

3-3. 経営学科 (Cクラス)

学年	2021年度 2学期 40組 (大人数版)
実施期間	2022/11/25 (土) 09:00 ~ 2022/12/09 (土) 23:00
科目名	学務課
アンケート回答率	38人 / 40人計 回答率 95.0%



3-4. 社会福祉学科

◎ 学期	2021年度 月2回限1000 月2回限400
◎ 実施期間	2022/04/15(土) 09:00 ~ 2022/05/19(木) 22:00
◎ 科目名	学修課
◎ アンケート回答者数	18人 / 18人中
◎ 全体の学習量	回答率 77.6%



3-5. デザイン学科

学年	2021年度 1学期 10月 全学履修状況
実施期間	2022/03/15(日) 09:00 ~ 2022/03/16(日) 20:00
作成者	事務局
全学出席率	出席率 92.9%

① 質問1	シラバスは授業時の進行に役に立っていましたか。
② 質問2	先生の話し方(言葉、声の調子等)は理解できましたか。
③ 質問3	先生は時間配分が適切で、授業の進め方は理解できましたか。
④ 質問4	授業やパワーポイントの学習内容の理解は進んでいましたか。(講師・演習のみ回答)
⑤ 質問5	配布資料、資料集などの資料は役に立っていましたか。(講師・演習のみ回答)

⑥ 質問6	先生は学習の理解度を確認しながら授業を進めていましたか。
⑦ 質問7	授業の内容は興味を喚起し続けていましたか。
⑧ 質問8	この授業の内容は理解できましたか。
⑨ 質問9	先生は勉強を促して授業に集中してましたか。
⑩ 質問10	この授業は内容的にどの程度満足していますか。
⑪ 質問11	この授業の良かった点、感想等の自由意見、その他、意見、質問等は自由に記入してください。 回答欄の枠外ですべて記入することはありませんが、記入する場合は必ず回答欄の枠内で行ってください。 記入欄 特になし 特になし 意見として 意見として 意見として 特になし

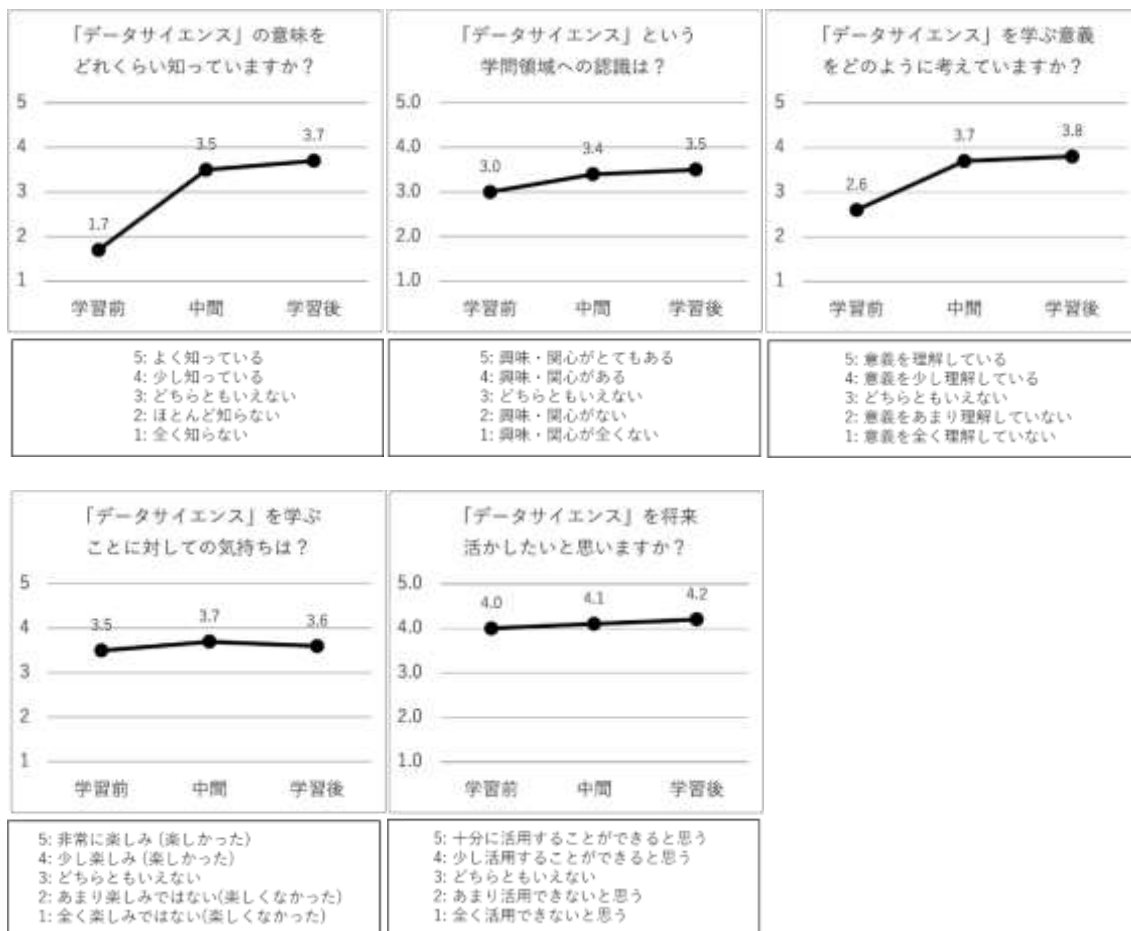
3-6. 建築学科

◎ 学科名	2021年度 入学生数 422 卒業生数 422
◎ 実施時期	2022/11/28(土) 09:00 ~ 2022/12/09(土) 20:00
◎ 対象者	卒業生
◎ 全体回答率	アンケート回答率 44人 / 52人 回答率 84%

◎ 質問1	シラビュは授業内の資料や記述が理解できましたか。						
	<table border="1"> <tr><td>とても理解できた</td><td>20%</td></tr> <tr><td>充分理解できた</td><td>40%</td></tr> <tr><td>理解できなかった</td><td>40%</td></tr> </table>	とても理解できた	20%	充分理解できた	40%	理解できなかった	40%
とても理解できた	20%						
充分理解できた	40%						
理解できなかった	40%						
◎ 質問2	先生の話し方(言葉・声の調子等)は適切でしたか。						
	<table border="1"> <tr><td>とても適切だった</td><td>20%</td></tr> <tr><td>充分適切だった</td><td>40%</td></tr> <tr><td>適切じゃなかった</td><td>40%</td></tr> </table>	とても適切だった	20%	充分適切だった	40%	適切じゃなかった	40%
とても適切だった	20%						
充分適切だった	40%						
適切じゃなかった	40%						
◎ 質問3	先生は時間配分など、授業の進め方は適切でしたか。						
	<table border="1"> <tr><td>とても適切だった</td><td>20%</td></tr> <tr><td>充分適切だった</td><td>40%</td></tr> <tr><td>適切じゃなかった</td><td>40%</td></tr> </table>	とても適切だった	20%	充分適切だった	40%	適切じゃなかった	40%
とても適切だった	20%						
充分適切だった	40%						
適切じゃなかった	40%						
◎ 質問4	授業のハイポイント(印象に残った場面)は適切でしたか。(授業・実習のみ回答)						
	<table border="1"> <tr><td>とても適切だった</td><td>20%</td></tr> <tr><td>充分適切だった</td><td>40%</td></tr> <tr><td>適切じゃなかった</td><td>40%</td></tr> </table>	とても適切だった	20%	充分適切だった	40%	適切じゃなかった	40%
とても適切だった	20%						
充分適切だった	40%						
適切じゃなかった	40%						
◎ 質問5	教科書や資料集などの教材は適切でしたか。(授業・実習のみ回答)						
	<table border="1"> <tr><td>とても適切だった</td><td>20%</td></tr> <tr><td>充分適切だった</td><td>40%</td></tr> <tr><td>適切じゃなかった</td><td>40%</td></tr> </table>	とても適切だった	20%	充分適切だった	40%	適切じゃなかった	40%
とても適切だった	20%						
充分適切だった	40%						
適切じゃなかった	40%						

◎ 質問6	先生は学生の理解度を確認しながら授業を進めておられましたか。						
	<table border="1"> <tr><td>とてもそう思う</td><td>20%</td></tr> <tr><td>充分そう思う</td><td>40%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>40%</td></tr> </table>	とてもそう思う	20%	充分そう思う	40%	そう思う	40%
とてもそう思う	20%						
充分そう思う	40%						
そう思う	40%						
◎ 質問7	授業の進め方や講義の進め方が得ておられましたか。						
	<table border="1"> <tr><td>とてもそう思う</td><td>20%</td></tr> <tr><td>充分そう思う</td><td>40%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>40%</td></tr> </table>	とてもそう思う	20%	充分そう思う	40%	そう思う	40%
とてもそう思う	20%						
充分そう思う	40%						
そう思う	40%						
◎ 質問8	この授業の学習目標は理解できましたか。						
	<table border="1"> <tr><td>とても理解できた</td><td>20%</td></tr> <tr><td>充分理解できた</td><td>40%</td></tr> <tr><td>理解できなかった</td><td>40%</td></tr> </table>	とても理解できた	20%	充分理解できた	40%	理解できなかった	40%
とても理解できた	20%						
充分理解できた	40%						
理解できなかった	40%						
◎ 質問9	先生は授業を通して感謝を込めておられましたか。						
	<table border="1"> <tr><td>とてもそう思う</td><td>20%</td></tr> <tr><td>充分そう思う</td><td>40%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>40%</td></tr> </table>	とてもそう思う	20%	充分そう思う	40%	そう思う	40%
とてもそう思う	20%						
充分そう思う	40%						
そう思う	40%						
◎ 質問10	この授業は全体的にどの程度満足していますか。						
	<table border="1"> <tr><td>とても満足できた</td><td>20%</td></tr> <tr><td>充分満足できた</td><td>40%</td></tr> <tr><td>満足できなかった</td><td>40%</td></tr> </table>	とても満足できた	20%	充分満足できた	40%	満足できなかった	40%
とても満足できた	20%						
充分満足できた	40%						
満足できなかった	40%						
◎ 質問11	この授業が良かった点、疑問点の解消、先生への意見、要望等があれば教えてください。 データマイエスが導入されてレベルが上がりそうなので良いと感じた。 特になし。 特にありません。 金額や授業の進め方、声の調子や話し方、レベルが上がることで良い。 特になし。 授業の進め方や資料集の活用などがあって授業内容に目もついていた。 分からないことがあるら、聞いてくれるチームワークに感謝しながら進んでおられることこそが印象的でした。 質問が返って良かったです！ 特にありません。						

4. 科目独自の授業アンケート結果



【自由記述】

- 最初は、データサイエンスというものをあまり知らなかったけど学ぶにつれて関心を持つことができた。
- 今回データサイエンスを学び、はじめは知らなかったが、日本の技術や生活の中で活用されている面が多いことを知り、とても興味を持てるものだった。そのため今後も自主的に調べ知識を深めていきたいと思う。
- グループワークは、データサイエンスについて知ることができたのはもちろん、普段話さないような人とも会話を交わすことができたので新鮮でした。こういう機会があれば、またコンピューター関係の授業を受けたいです。
- データサイエンスは商業系のイメージが強かったので自分たちが学んでいる分野にも活用されていると知ることができて良かった。